

台風などの大雨や強風により、どのような危険があるのでしょうか。
 また、市町村が発表する避難勧告や避難指示が出された場合は、どのように行動すればよいのでしょうか。

調べてみよう

大雨により発生する被害を調べ、危険について考えましょう。

大雨による洪水



写真提供：宮城県河川課 塩竈市

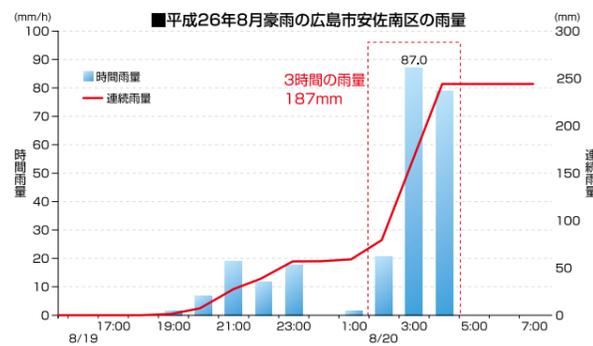
平成6年9月22日、発達した積乱雲の影響により、岩沼市から多賀城市にわたる仙台都市圏東部の低平地を中心に、雷をともなう集中豪雨がおそい、総雨量は多賀城市で353ミリ、塩竈市でも194ミリになりました。

仙台空港は総雨量が515ミリになり空港施設の周囲は水没しました。

大雨による土砂災害



写真提供：国土地理院 広島市安佐南区

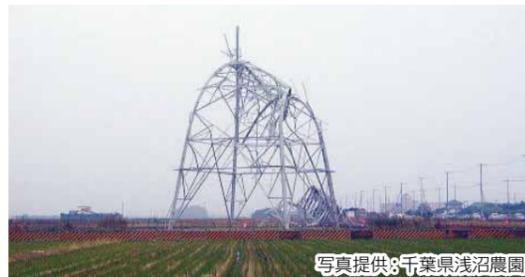


参考：国土交通省防砂部ホームページ「平成26年8月豪雨による広島県で発生した土砂災害への対応状況(2014年10月31日時点)」内の雨量推移図を加工して作成

防災知識

台風などの強風により、建物の屋根やビニールハウスなどが飛ばされることがあります。飛んできたもので、けがをするなどの危険があるので注意が必要です。

竜巻や急な突風も大きな被害をおよぼすことがあります。



写真提供：千葉県浅沼農園 台風の強風により倒れた鉄塔

知っておこう

災害に備える

大雨以外の警報の種類も知っておくといいね。



気象庁が発表する気象情報や特別警報・警報・注意報などの発表のタイミングや市町村が出す避難情報を知っておきましょう。

大雨で土砂災害の警戒の必要がある場合

予想される状況	気象庁が発表する情報	市町村が発表する避難情報	住民の行動
約1日程度前 大雨の可能性が高くなる	大雨に関する気象情報		気象情報・空の変化に注意 ハザードマップ
半日～数時間前 大雨始まる 強さ増す	大雨注意報 災害が起こるおそれがある場合に発表		最新の情報に注意して、災害に備えた早めの準備を雨・風の影響を受けやすい地区・避難困難者は早めの行動!
数時間前～2時間程度前	大雨警報 重大な災害が起こるおそれがある場合に発表 土砂災害警戒情報 土砂災害の危険度が非常に高まったときに発表	避難準備情報 →避難行動に時間がかかる人は避難開始 避難勧告 →通常の避難ができる人は避難開始 避難指示 →まだ避難していない人は、すぐに避難	市町村が発表する避難に関する情報に注意し、必要に応じて速やかに避難 
大雨が一層激しくなる	特別警報 重大な災害が起こるおそれが著しく大きい場合に発表	大雨特別警報の発表 や 避難勧告 が発令済みであることを周知	ただちに命を守る行動をとる! 避難場所へ避難するか、外出することが危険な場合は家の中で安全な場所にとどまる 
広い範囲で数十年に一度の大雨			

参考：気象庁「命を守るために知ってほしい 特別警報」 同「気象庁」パンフレット内資料を加工して作成

※避難情報が発表されるタイミングは、市町村によって異なり、上記は一般例です。

※気象情報は、気象現象の経過や予想、防災上の注意点を解説するために発表しているものです。

※大雨による河川の増水や氾濫の避難行動の参考になるよう、気象庁と河川管理者は、「氾濫注意情報」などを発表しています。

避難勧告や避難指示が出された場合は、速やかに安全な場所に避難しましょう。

気象情報などをこまめに手に入れ、外の様子に注意して、早めに避難しましょう。

被害にあってからではおそいね。避難してなにも起こらなくても、「なにもなくてよかった」と家族で思えるようになるといいね。

